

# 「9月定例議会」

会期 2020年9月18日より  
10月13日まで

・令和2年度9月補正予算  
他条例を含む審議



愛知県議会 HP  
QRコード



愛知県議会だより  
QRコード

「令和2年度愛知県一般会計補正予算(第11号)」、「愛知県立愛知病院条例の制定について」など34件の議案と、令和元年度一般会計・特別会計決算12件及び公営企業会計決算5件が提出されたほか、10月9日(金)に、委員会提出議案として「愛知県議会委員会条例の一部改正について」の議案1件が提出されました

## ◎愛知県議会委員会条例の一部改正について

この条例は、県議会における委員会の開催にあたり、重大な感染症の蔓延または、大規模な災害発生等により参加が困難な委員について、リモートでの参加を可能とするものです。

## ◎令和2年度9月補正予算について

新型コロナウイルス感染症の対応を中心に補正予算の検討がなされました。専門病院はすでに稼働を開始致しました。児童生徒へのサポート、企業や農林水産業、社会生活へのサポートと、多岐にわたります。(下段参照下さい)

### 令和2年度9月補正予算内容

1. 新型コロナウイルス感染症のPCR検査体制を拡充します。 42億2224.1万円 (新規含む)
2. 新型コロナウイルス感染症専門病院を開設し、患者受入体制を強化します。 26億5042.5万円 (新規)  
・運営主体 愛知県・所在地 岡崎市欠町 (現岡崎市立愛知病院)・病床数 最大100床
3. 新型コロナウイルス感染症患者及び疑似患者を受け入れる医療機関を支援します。 420億9670.3万円
4. あん摩マッサージ指圧師等が開設する施術所における感染防止対策を支援します。 6億3937.9万円 (新規)
5. 高機能換気設備の導入を支援します。 9102.0万円 (新規)
6. 県立学校の衛生環境の整備を図ります。 28億9903.2万円
7. 避難所等における感染防止対策を積極的に支援します。 2億0000.0万円
8. 新型コロナウイルス感染症の影響により、収入が減少した世帯に対する貸付事業を拡大します。 58億1900.9万円 (6月補正後76億5700.0万円→9月補正後134億7600.9万円)
9. ICT環境の整備の推進により新たな時代に相応しい教育を実現します。 21億4497.6万円
10. 児童・生徒の心のサポート体制を充実します。 6838.4万円
11. 修学旅行の中止に伴う取消料への支援を行います。 3億0300.0万円 (新規)
12. 「新型コロナウイルス感染症対応資金」を拡充します。 16億5782.1万円 (6月補正後56億6481.0万円→9月補正後73億2263.1万円)  
(外に債務負担行為 240億1085.9万円 (6月補正後800億8011.0万円→9月補正後1040億9096.9万円))
13. 新型コロナウイルス感染症の影響を受ける中小企業や商店街の支援を拡大します。 3億6633.6万円 (6月補正後7億5700.0万円→9月補正後11億2333.6万円)
14. 新型コロナウイルス感染症の影響を受けている地場産業を支援します。 3249.3万円 (新規)
15. 新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた山車まつりの実施に向けた取組を支援します。 2778.0万円
16. 「新しい生活様式」に対応した中小企業の採用活動支援や職業訓練の環境整備を行います。 3707.8万円 (新規)
17. 観光消費の喚起に向けた取組を引き続き推進するとともに宿泊事業者・旅行者の感染防止対策を促進します。 16億0798.8万円
18. 農作業の省力化を緊急的に進める地域の取組を強力に支援します。 2億5000.0万円 (新規)
19. 「みかわ牛」等の畜産物流通体制の確立を支援します。 3億2944.6万円 (新規)
20. 学校給食に県産水産物を提供します。 17億5820.4万円 (新規)
21. 新型コロナウイルス感染症の影響を受けている林業・木材産業者を支援します。 2億2934.9万円
22. 新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも運行を継続している公共交通事業者を支援します。 1億8770.0万円
23. 地域公共交通を中心に、多様なサービスを組み合わせたMaaSの導入を推進します。 1862.1万円 (新規)
24. 「後方支援を担う新たな防災拠点」の整備に向けた取組を推進します。 5851.6万円
25. 交通死亡事故抑止に向けて、交通安全対策を強化します。 1億0391.0万円
26. 高齢者等に対して市町村が実施するインフルエンザ接種の費用を助成します。 18億0220.8万円 (新規)

### 令和2年度9月補正予算資料 (単位:千円)

| 区分   | 既決予算額           | 9月補正予算見込額    |
|------|-----------------|--------------|
| 一般会計 | 2,758,322,489   | 80,440,728   |
| 特別会計 | 1,355,344,018   | 29,000       |
| 企業会計 | 254,639,799     | 0            |
| 合計   | 兆 4,368,306,306 | 億 80,469,728 |



※挿し絵はイメージです。

## ◎建設委員会

10月6日

【朝日 将貴】  
主要地方道「弥富名古屋線」の  
整備状況について伺う

### 【道路建設課長】

主要地方道「弥富名古屋線」については、弥富市の又八地区において、普通河川「市江川」から県道「子宝愛西線」までの約500m区間のバイパス整備を進めている。

これまでに用地取得が完了し、工事については、2014年度に着工し、校区西側の「市江川」を渡河する橋梁とその前後の取り付け部の擁壁を含め約140mが概ね完了したところである。

工事に当たっては、バイパス区間全線にわたって、JR関西本線に接近していること、この地域は地盤が軟弱であることから、周辺に影響しないよう慎重な施工が必要となる。そのため、鉄道の安全な運行に支障がないよう、JR東海と協定を締結し、工事毎に着工前から完了後の一定期間において、JR東海が鉄道軌道部の沈下計測を行っている。

こうしたことから、JR東海に地盤沈下状況を確認、協議しながら順次工事を進めており、整備に時間を要している。

現在は、引き続き工区東側約200mの区間において盛土による道路築造工事を鋭意進めており、この工事にあってもJR東海と協議しながら進めている。

### 【朝日 将貴】

鉄道の安全な運行に支障がないように、進めているとのことであるが、JR東海との協議状況と、今後の工事取組について伺う

### 【道路建設課長】

JR東海との協議状況であるが、これまで完了している橋梁の下部工や擁壁においては、基礎杭を打設した施工であり、構造物の荷重による鉄道軌道部への影響が少ないことから、



完成後の沈下計測期間は1ヶ月となっていた。しかしながら、今年度実施の盛土による道路築造工事については、軟弱地盤上での盛土荷重による影響予測解析を基に、JR東海と協議を行った結果、**盛土完成後の沈下計測期間として10ヶ月が必要となった。**

現在、盛土工事に着手しているが、完了後10ヶ月間の沈下計測により、鉄道への影響がないことを確認した後に、次の工事に移ることとなっていることから、この沈下状況の確認期間の短縮について、JR東海との協議を行うなど、工程管理を図っていく。

### 《要望》

地方主要道「弥富名古屋線」に関して

主要地方道「弥富名古屋線」は、地域にとって重要な道路である。事業区間の周辺住民も工事の進捗など非常に心が高いことから、地元に対し、弥富市とともに調整し、11月に説明会を行い、1日も早い完成をお願いする。

### 【道路建設課長】

工事の状況等については、地元への説明を11月に行うとともに、引き続き早期完成に向け、事業の進捗に務めていく。